安全データシート

1　製品及び会社情報

1.1　製品の特定

製品名　：RA エコオイルクリーン吸着マット
製品分類：油吸着材
主な用途：　床・路面にこぼれた油や水面の浮遊油を吸着して取り除く
使用上の注意：上記用途以外に使用しないでください。

1.2　会社情報

会社名：　株式会社ユーエスシー
住所：　〒183-0044　東京都府中市日鋼町１－１　ヒューリックタワー12F
担当部門：　商品開発広報部
電話番号：　042-351-0011
FAX 番号：　042-351-0010
e-mail：　usccom@usccom.co.jp
改訂日：　2024 年 03 月 28 日

2 危険有害性の要約

GHS 分類

皮膚腐食性／刺激性	区分　2
眼刺激性	区分　2

※記載のないものは分類対象外、区分外または分類できない

GHS ラベル要素
シンボル

注意喚起語：なし
危険有害性情報
皮膚刺激
眼刺激

注意書き
【安全対策】
・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
・容器を密閉にしておくこと。
・個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
・保護手袋、保護眼鏡、保護面を使用すること。
・屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
・ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
・取扱い後は、よく手を洗うこと。

【救急処置】
火災の場合には適切な消火方法をとること。
吸入した場合、新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。気分の悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合は外して洗うこと。眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
衣類にかかった場合、直ちに、すべての汚染された衣服を脱ぐこと、取り除くこと。
汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。口をすすぐこと。

【保管】
製品は密閉して冷暗所に保管する。
【廃棄】
生分解し安全、但し、地域の規則に対応して廃棄する。

３.組成及び成分情報

〔粉末（内包パウダー）部位〕
豆科植物穀、パラフィン、天然培養微生物

（有機成分）	９０．８％
セルロース（炭水化物）	８１．３４％
乾燥減量	７．４％
エーテル可溶分	１．２％
全窒素	０．８６％
（無機成分）	９．２％
SiO２	６．０％
AL２O３	０．９％
CaO	０．６％
K２O	０．５％
その他	１．２％

〔袋（外側不織布）部位〕

化学名	：ポリ乳酸
成分	：ポリ乳酸 100％
官報公示整理 No.	：（化審法）非該当
整理番号	：（安衛法）非該当
CAS No.	：9051-89-2
PRTR 法	：非該当
安衛法通知対象物質	：非該当
国連分類	：非該当
国連番号	：非該当

４　応急措置

眼に入った場合　：　直ちに流水で洗い流す。
皮膚についた場合：　直ちに流水で洗い流す。
吸入した場合　：　直ちに新鮮な空気の場所に移動し、鼻をかみ、うがいをする。
飲み込んだ場合　：　直ちに水を飲む。医師に相談する。

５　火災時の措置

消火方法　：　紙屑火災と同じ消化方法。放水。

消火剤　：　水、粉末・二酸化炭素、泡

特殊火災・爆発の危険性：　なし

化学反応 データ：　なし

安定性　：　良

避けるべき環境　：　高温、強酸と接触すると微生物が活性しない。

非適合性　：　強酸。

重合化の危険性　：　起こらない。

６　漏出時の措置

清掃方法　：　ほうき等で掃き塵取でとる。
廃棄方法　：　生分解し安全、但し、地域の規則に対応して廃棄する。

７　取扱い及び保管上の注意

取扱い：
技術的対策：『８．ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気： 『８．ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
安全取扱注意事項： この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
接触、吸入又は飲み込んではならない。 取り扱い後はよく手を洗うこと。
接触回避： 『１０．安定性及び反応性』を参照。
保管 ：
技術的対策： 作業環境を許容濃度以下に保ち、換気をよくして、吸入・接触を避ける。
取り扱い後は常に石鹸水で洗浄し、作業着は別々に洗濯すべきである。
保管条件： 直射日光を避け、容器を密閉して換気のよい涼しい所で保管する。
混接危険物質： 「１０．安定性及び反応性」を参照。

８ ばく露防止及び保護措置

ばく露防止措置
管理濃度 ： 設定されていない。
設備対策 ： 粉塵の発生する場所は密閉化するか局所排気装置を設ける
保護具 ： 必要に応じて保護手袋、保護眼鏡、防塵マスクを着用する。

９ 物理及び化学的性質

〔パウダー部位〕

外観	： 黄褐色	揮発性	： なし
かさ比重	： 0.25	状態	： 粉末
におい	： なし	pH	： 7.0

〔袋（不織布）部位〕

物理状態：	固体	色：	白
形状：	袋状	におい：	なし
比重：	1.25 （樹脂）	蒸気圧：	なし
融点：	170℃（樹脂）	溶解度：	水に不溶

１０ 安定性及び反応性

安定性： 一般的な貯蔵・取り扱いにおいて安定である。
危険有害反応性可能性：
避けるべき条件： 加熱・高温／凍結温度
危険有害性のある分解生成物： この物質は、常温では分解しない。

１１ 有害性情報

（製品データ）情報なし
（成分データ）固形パラフィン、モルホリン
成分名
固形パラフィン モルホリン
健康に対する有害性
急性毒性（経口），ﾗｯﾄLD50, mg/kg： ＞5000（区分外）1050, 1420 等(区分4)
急性毒性（経皮），ｳｻｷﾞ LD50, mg/kg： 3600（区分外）310, 500 等(区分3)
皮膚腐食性・刺激性，ﾋﾄ： not irritating 腐食性を示す。
ｳｻｷﾞ： not irritating と 壊死を生じる。
slightly irritating(区分外)（区分1)
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性，ﾋﾄ： データなし 眼の角膜に浮腫、強度の刺激性
ｳｻｷﾞ： 浮腫、角膜混濁、ぶどう腫
mild irritant(区分2B)（区分1)
生殖細胞変異原性： in vivo 試験：データなし ﾗｯﾄ優性致死試験：陰性
in vitro 試験：陰性 ｼﾘｱﾝｱﾑｽﾀｰの胎児を用いた
小核試験、染色体異常試
験、遺伝子突然変異試
験：陰性

姉妹染色分体交換試験：陽性
(分類できない)
発がん性： ACGIH 該当せず ACGIH 分類A4
IARC 該当せず IARC 分類 ｸﾞﾙｰﾌﾟ3
(分類できない)
特定標的臓器
全身毒性（単回ばく露）： ﾜｯｸｽﾋｭｰﾑは眼・鼻・ ﾗｯﾄ：4 時間吸入ばく露試験
のどに軽度の気道刺激性 区分1 の範囲の71ppm
（区分3）(0.252mg/L)で呼吸数の増加、
肺の刺激
(区分1(呼吸器系))
全身毒性（反復ばく露）： データ足 ﾗｯﾄ：蒸気による104 週間吸入
毒性試験において、区分1 のｶﾞｲﾀﾞﾝｽ値の範囲内である180mg/m3(0.18 mg/L)以上で限局
性の皮膚の壊死、鼻甲介骨壊死等、主な影響として、刺激性に起因した鼻腔への影響がみられる。(区分1(呼吸器系))

１２　環境影響情報

（製品のデータ）　製品としての安全性試験はおこなっていない。
（成分のデータ）　固形パラフィンのデータなし

環境有害性　　データなし

１３　廃棄上の注意

残余廃棄物： 廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には
そこに委託して処理する。
廃棄物の処理を依託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
燃焼法： アフターバーナ及びスクラバ付きインシレータの中で焼却する。
汚染容器及び包装：容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

１４　輸送上の注意

国際規則
海上規制情報： ＩＭＯの規定に従う。
海上汚染物質： ばら積み運送 有害液体物質 Ｙ類物質 混合物
個品運送 該当しない
航空規制情報： 非危険物
国内規制：
陸上規制情報： 特段の規制はない。
海上規制情報： 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
海上汚染物質： ばら積み運送 有害液体物質 Ｙ類物質 混合物
個品運送 該当しない
国連分類： 国連勧告の定義上、危険物に該当しない。
輸送の特定の安全対策及び条件：直射日光を避け、５℃～３０℃の温度範囲で輸送する。
輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。
転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実
に行う。

１５　適用法令

化審法： 既存化学物質名簿へ収載
労働安全衛生法： 名称等を通知すべき有害物（通知対象物）
（法 57 条の 2、施行令 18 条の 2 別表第 9）
（政令番号 第 170 号 固形パラフィン）
水質汚濁防止法： 水素イオン濃度等の項目
海洋汚染防止法： ばら積み運送 有害液体物質 Ｙ類物質混合物
下水道法： 鉱油類排出規制（５ｍｇ／ｌ許容濃度）

１６　その他の情報

参考文献

1)　ICSC(J)(2000)、(2003)：パラフィンワックス ICSC 番号 1357
2)　JCDB Cem.DB (2006)：固形パラフィン　GHS 対応 MSDS
3)　IUCLID (2000)
4)　RTECS
5)　PATTY4th(1994)、5th(2001)
6)　ICSC(2000)、(2003)
7)　EHC20(1982)、47(1989)、71(1999)
8)　ACGIH 7th(2001)、(2005)
9)　IARC45(1989)、47(1989)、71(1999)
10) NTP TR310(1986)
11) JETOC(2006)：　GHS 分析結果；　ID720 固形パラフィン
12)環境省リスク評価第４巻 (2005)
13) 独立行政法人製品評価技術基盤機構 (NITE) 公表データ
14) 既存化学物質安全性点検データ
15) GHS 対応ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ (暫定版) 第二部 製品安全データシートの作成指針 (改訂２版、平成 18 年５月 日本化学工業協会)
16) GHS 対応 MSDS・ラベル作成ガイドブック[混合物用塗料用] (改訂初版、平成 19 年５月　日本塗料工業会
17) GHS 簡易分類ソフトＶｅｒ5.0－110、MSDS 用化学物質データベース (塗料用) 第５版改、(平成 21 年３月本塗料工業会)
18) 同上別紙モデル MSDS・モデルラベル事例集[混合物用塗料用] (平成 18 年 10 月日本塗料工業会)

特別注意事項

この製品データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべてのデータを網羅しているものではありませんので、製品の取扱いには十分に注意してください。また、記載内容は情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

なお、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施してください。

[会社情報]

販売者：(株)西京スズキ
所在地：宇部市東須恵2573-1
TEL:0836-41-6485